平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	11	ー	29

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	生涯学習推進事業					
評価者	担当課名		教育振興課	担当係名		生涯教育係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	横田和幸		氏名	佐藤公輔
事業の概要	町民のライフステージやニーズに応じ、生涯にわたり学び・学習の活動を続けていくために、講座及び学習会等を開催する。			全体計画（平成 20 年度～ 24 年度）		
				事業費	国・道支出金	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	3,550 千円
					事業費計	3,550 千円
実施方法	■ 直営		民間委託		その他（　　）	
第５期総合計画（前期）	■ 登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	3	のびやか・雄武～教育・文化の振興～			
	基本施策	13	生涯学習・生涯スポーツの推進			
	単位施策	2	学習・スポーツ活動の推進			
	事務事業の種類	■	自治事務		法定受託事務	
	その他計画・根拠等					

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	200 千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	816 千円	547 千円	377 千円	470 千円	400 千円
	合計	816 千円	547 千円	377 千円	670 千円	400 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	町民	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	生涯学習ニーズの把握とその活動支援対応	各学級・講座の開設数		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	新しい知識や技能など、生活の向上に向けた学習機会の提供	① 生きがい大学（10／10） 町民大学（4／4） 成人講座（1／3） 図書を活用したまちづくりセミナー（2／2）	目標年度	平成23年度
			目標値	17 回
			実績値	19 回
			達成度	111.8 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	生き方や社会のあり方について考え、判断し、行動する自己高揚	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
生きがい大学	全10回の開催～講話・学習会・芸術鑑賞会・スポーツ交流・西紋地区交流会
町民大学	全4回の開催～「あなたならどうする？家族が倒れたら（藤田　智）」・「チェアスキーで金メダル（狩野亮）」・「音と気～生の音楽のすばらしさ（大平まゆみ）」・「地域の可能性とまちづくり（藻谷浩介）」
成人講座	書道教室

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	社会情勢の変化に主体的に対応する住民の学習支援を行うため。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 □達成 ■ほぼ達成 □下回る	多様なジャンルの学習提供により、住民意欲の向上につながっている。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 □事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 ■その他	町民ニーズに対応したプログラム内容に工夫するなど、参加率の向上と事業費精査を行いつつ効率的な実施を図った。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある ■受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	町民全てが参加できるように配慮した内容で実施している。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
計画どおりに実施でき、効果的に事業の推進を図ることが出来た。		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
継続した事業の実施を図ることで、多様な学習の機会が提供でき、地域における生涯学習への理解と学習への意欲向上につながる。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）